

令和3年度 学校評価

☆評価一覧

保護者回答率	90.5%
--------	-------

4段階評価・・・4～3.5以上◎ 3.5未満～2.5以上○ 2.5未満～1.5以上△ 1.5未満～×

番号	内 容	児童		保護者		教職員		昨年度			
		指数	判定	指数	判定	指数	判定	児童	保護者	教職員	
子ども	1	お子さんは、学校に行くことが楽しいと言っている。	3.61	◎	3.57	◎	3.42	○	3.51	3.51	3.30
	2	お子さんは、授業が楽しいと言っている。	3.37	○	3.39	○	3.29	○	3.32	3.32	3.04
	3	お子さんは、友達や教職員と好ましい関係ができています。	3.72	◎	3.51	◎	3.38	○	3.68	3.48	3.35
	4	お子さんは、学年に応じた基礎学力（読み書き計算等の力）がついている。	3.48	○	3.23	○	2.96	○	3.44	3.18	2.86
	5	お子さんは、進んで読書に親しんでいる。	3.28	○	2.65	○	2.79	○	3.27	2.63	2.70
	6	お子さんは、家族や地域の方に進んであいさつをしている。	3.53	◎	3.11	○	3.13	○	3.43	3.18	2.91
教職員	7	教職員は、子どもの相談に適切に対応している。	3.71	◎	3.47	○	3.58	◎	3.66	3.35	3.55
	8	教職員は、よいことは大いに褒め、悪いことには厳格に指導している。	3.75	◎	3.46	○	3.63	◎	3.72	3.45	3.41
	9	教職員は、子どものよさや気持ちをよく理解している。	3.81	◎	3.39	○	3.50	◎	3.71	3.38	3.48
	10	教職員は、家庭への連絡を適切に行っている。	3.71	◎	3.57	◎	3.75	◎	3.51	3.48	3.57
	11	教職員は、興味がわくような授業を心がけている。	3.75	◎	3.37	○	3.42	○	3.65	3.35	3.35
学校	12	学校は、自ら考え、学ぶ子どもを育てている。	3.43	○	3.36	○	3.25	○	3.22	3.30	3.17
	13	学校は、心豊かで、思いやりのある子どもを育てている。	3.65	◎	3.37	○	3.54	◎	3.56	3.32	3.30
	14	学校は、進んで体をきたえる子どもを育てている。	3.43	○	3.30	○	3.38	○	3.38	3.39	3.23
	15	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	3.64	◎	3.28	○	3.63	◎	3.40	3.21	3.39
	16	学校は、保護者の相談に親切に対応している。	△	△	3.45	○	3.75	◎	△	3.38	3.52
	17	学校は、楽しく有意義な行事を実施している。	3.71	◎	3.32	○	3.25	○	3.66	3.26	3.04
	18	学校は、保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	△	△	3.22	○	3.29	○	△	3.15	2.55
	19	学校は、施設や遊具の安全に配慮している。	3.50	◎	3.45	○	3.63	◎	3.43	3.40	3.30
	20	学校が保護者に出す文書・連絡（メール等）は、有効・適切である。	△	△	3.47	○	3.88	◎	△	3.43	3.57
	21	来校した時や電話の対応で、学校の対応は丁寧である。	△	△	3.63	◎	3.75	◎	△	3.64	3.48
	22	来校した際に、校舎内外はきれいに整備されていると感じる。	3.65	◎	3.52	◎	3.46	○	3.45	3.43	3.22

〈考察〉

○成果

- ・昨年度と比較し、肯定的回答が全体的に増えている。児童、保護者、教職員それぞれが、コロナ禍の中でも工夫して教育活動が行えていることを実感できていることがポイントの向上につながっているものと考えられる。
- ・保護者アンケート項目17「楽しく有意義な行事」については、コロナ禍の中ではという前提での回答が多い。自由記述では「コロナ禍の中で保護者が参加する行事が少なくなりましたが、色々考慮され動画配信等で子どもの様子を目にするのができ、良かった」との声が寄せられたものの、項目18では教職員が3.29（昨年度より0.74ポイント増）、保護者は3.22（昨年度3より0.07ポイント増）とポイントの伸びに差がある。感染症対策を徹底しながら参観時間等の工夫が求められている。
- ・児童アンケート項目3「わたしは、友達と仲良くできている」3.72ポイント（昨年度3.68）、児童アンケート項目9「先生は、みんなのよいところを見つけてくれる。」3.81ポイント（昨年度3.71）という結果から、全体的には児童同士、児童と教職員について、人間関係が良好な傾向であることが確認できる。（児童アンケートと保護者・教職員アンケートでは、文面が多少異なっています。）
- ・教職員のアンケートでは、児童理解、保護者の方への丁寧な対応や連絡、安全面への配慮について尽力している様子が数値に反映されており保護者アンケートにおいて項目10、21、22の評価につながっていると考えられる。

○課題

- ・課題となったのは「読書」（項目5）についてである。過去3年間の児童アンケート結果を見直すとR1：3.13→R2：3.27→R3：3.28と微増はしている。しかし、保護者、教職員の評価も2ポイント台と他項目に比べて著しく低い結果となっている。児童、保護者、教職員すべてにおいて、この項目が最低値となっている。コロナ禍のため、読み聞かせボランティアの方々を校内に招くことが出来ない、授業中での調べ学習は本だけでなくタブレットの活用が推進されている等、本から離れる状況は確かに見受けられる。学校でもこの状況を重く受け止め、教職員による読み聞かせ（全校放送を活用）を実施したり、「図書室新刊の紹介」を発行したり、読書に親しめる環境づくりに努めている。読書通帳を作成し、読書意欲の向上を図っている学年もあるので、今後は委員会活動等とおして、全校にその活動を広めていく等、改善のためにさらなる工夫と実践的な活動が必要だと考える。
- ・項目4で教職員が「学力」について課題を感じていることがわかる。家庭での学習時間を調査したところ全校では4.5%が「ほとんど勉強しない」と回答している。特徴的なのは中学年で学習時間の差が顕著となっている。3年生の7.3%、4年生の10.9%が「ほとんど勉強しない」と回答している反面、1時間以上学習している児童が3年生は20%、4年生は30.4%もいる。一般的に小学生の家庭での望ましい学習時間は、学年×10分間以上と言われており（3年生なら30分以上、4年生なら40分以上）、継続的に学習が積み重ねられるよう、今後も学校と家庭が連携し、児童の学習習慣の確立を図ることが大切である。

○最後に

今年度も学校評価アンケートへの御協力、誠にありがとうございました。皆さんからいただいた御意見を真摯に受け止め、今後も子ども達のために充実した教育活動を目指して参ります。引き続き、保護者の皆様の御支援、御協力をお願いいたします。